

三社参りの道

今から270年ほど前から「三社参り」という風習のあった村落をたどるコースです。戦前まで残っていた神事で、八ヶ岳権現社には雨乞いを、日吉神社には晴天の祈りを、風の三郎社には暴風雨除けを、それぞれ祈願してお参りをします。当地は宮沢賢治の「風の又三郎」のヒントになった舞台かもしれないという推測もされ、近年人気になりました。また、風切りと呼ばれる防風林の並木も美しく昔ながらの農村景観が見られます。戦争末期、石油の代わりに使用しようとした「松根油」採取の跡も残る、ひじょうに趣のあるコースです。

【モデルコース】



COURSE GUIDE

◎基本コース

- *歩行距離:約6km
- *所要時間:約150分

高根町にある「そば処清里 北甲斐亭」がスタートとゴールになります。約6kmのコースですが、のんびり自然とふれあいながら2時間半ほどで歩けます。北甲斐亭を出発し、林の中の坂道を上り権現神社へ。途中、八ヶ岳の絶景を眺めながら榎山親水公園へ向かいます。堰を過ぎたら金比羅様、さらに日吉神社の境内を通り、クリスタルラインを辿ります。松根商店前を通り過ぎ、風の三郎社へ。ふたたび林に入り、所々に「松根油」採取跡が見られる「風切りの松散策路」を歩き、北甲斐亭へ到着というルートです。茅葺の家や木の橋など昔話に出てくるような光景を楽しみながら、ゆっくりと里山を歩く贅沢な時間が過ごせます。



権現神社
三社参りの中の雨乞いを祈願する神社です。特にこの地域においては、水不足解消が大きな課題であったため、八ヶ岳権現への信仰心は最も厚かったといわれています。



こんな変わった松の木にも出会えます



風切りと呼ばれる防風林の向こうに八ヶ岳がそびえる



ゆったりとした水の流れの横せぎ



日吉神社
三社参りの中の晴天を祈願する神社。毎年1月14日から15日の未明にかけて氏子たちによって執り行われる「筒粥の神事」では、その年の天候や農作物の豊凶等の占いが行われます。



風の三郎社
北西にそびえる権現岳は昔「風の三郎岳」と呼ばれ、ここから吹き降ろす風は相当強烈なものだったそうです。そのため「風きり」と呼ばれる赤松を植えた防風林が今も残り、八ヶ岳おろしを防いでいます。榎山・東原集落にある利根神社の鳥居をくぐった境内に石祠があり、右側面に「風」と読める跡が見られます。

そば処清里 北甲斐亭

水清らかに、空をえわたる八ヶ岳高原のすばらしい環境の中で丹精こめて育てられた「榎山そば」。そば栽培に適した高冷地で収穫し、粉にひいて打ったこだわりのそばをつけ汁でいただく。そば処清里の名物です。



◎営業時間 夏季:午前11時～午後6時
冬季:午前11時～午後5時
◎定休日 無休(ただし冬期10月～4月24日は木曜日)
◎TEL. 0551-48-5541

そば打ち体験道場 (要予約)

そばの栽培から一貫して行っている北甲斐亭では、手打ちの楽しさを知っていただく「そば打ち体験道場」を開催。経験豊かな地元の女性がやさしく教えてくれるので、初心者でも安心して参加できます。



このコースの道守さん

ペンション・ベアハット 多賀純夫さん

道守の仕事は、担当コースのイベントを主催したり、季節の事柄、道路状況等の情報を管理し、つねに魅力あるコース作りと、コースの保全です。コースガイドについては、お気軽にお問い合わせ下さい。
◎連絡先:090-8857-2864

